



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 日本化薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 涌元 厚宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 川村 勉 (TEL) 03-6731-5842
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	48,584	0.6	2,333	△63.4	4,179	△51.6	2,661	△55.3
2023年3月期第1四半期	48,296	4.0	6,380	8.4	8,634	36.0	5,957	13.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 12,765百万円(23.5%) 2023年3月期第1四半期 10,334百万円(75.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	16.06	16.04
2023年3月期第1四半期	35.41	35.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	343,001	263,523	76.5
2023年3月期	322,858	255,027	78.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 262,554百万円 2023年3月期 254,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,100	△5.5	5,300	△60.9	6,200	△62.7	4,400	△61.0	26.54
通期	202,300	2.0	13,000	△39.5	14,000	△39.2	10,500	△29.9	63.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	170,503,570株	2023年3月期	170,503,570株
2024年3月期1Q	4,733,430株	2023年3月期	4,732,954株
2024年3月期1Q	165,770,312株	2023年3月期1Q	168,245,559株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2023年7月31日(月)に証券アナリスト及び機関投資家向けにテレフォンカンファレンスを開催する予定であります。使用する資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年6月30日まで)の世界経済は、燃料・資源価格が高止まりしており、またロシアによるウクライナ侵攻の長期化等に伴い地政学的リスクの高い状況が継続しており、不透明感が増しています。

このような状況の中、当社グループは前期より開始した中期事業計画“*KAYAKU Vision 2025*”が2年目に入り、引き続き事業ごとに定めた「ありたい姿=Vision」に向けたロードマップを実行するとともに、ありたい姿実現に向けて定めた全社重要課題に対し取組を進めています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高はファインケミカルズ事業領域が前年同四半期を下回ったものの、モビリティ&イメージング事業領域及びライフサイエンス事業領域が前年同四半期を上回ったことにより、485億8千4百万円となり、前年同四半期に比べ2億8千7百万円(0.6%)増加しました。

営業利益は原材料価格高騰の影響に加え、ファインケミカルズ事業領域の売上高減少により、23億3千3百万円となり、前年同四半期に比べ40億4千6百万円(63.4%)減少しました。

経常利益は為替差益等により、41億7千9百万円となり、前年同四半期に比べ44億5千4百万円(51.6%)減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、26億6千1百万円となり、前年同四半期に比べ32億9千5百万円(55.3%)減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【モビリティ&イメージング事業領域】

売上高は192億5千万円となり、前年同四半期に比べ25億5千5百万円(15.3%)増加しました。

セイフティシステムズ事業は、国内は半導体不足等の影響による自動車の減産が続いたものの当第1四半期連結累計期間後半より需要が緩やかに回復したことにより、エアバッグ用インフレーターは前年同四半期と同水準となり、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターは前年同四半期を上回りました。また、海外は世界的なインフレ進行や一部地域ではコロナ拡大の影響による需要低迷があったものの総じて堅調な需要に支えられ、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブは前年同四半期を上回りました。この結果、セイフティシステムズ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

ポラテクノ事業は、X線分析装置用部材が堅調に推移したことに加え、染料系偏光フィルムの需要が緩やかに回復したことにより、前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は原材料価格高騰による製造原価の上昇や販売費、開発費等が増加したことにより、14億7千9百万円となり、前年同四半期に比べ4億4千9百万円(23.3%)減少しました。

【ファインケミカルズ事業領域】

売上高は139億4千6百万円となり、前年同四半期に比べ28億6千1百万円(17.0%)減少しました。

機能性材料事業は、世界的な物価上昇による民生向け需要の低迷及び半導体関連部材のサプライチェーンの在庫調整の影響を受けエポキシ樹脂をはじめ各製品群が低調に推移したことにより、機能性材料事業全体で前年同四半期を下回りました。

色素材料事業は、産業用インクジェットプリンタ用色素が前年同四半期を下回ったことに加え、コンシューマ用インクジェットプリンタ用色素が低調に推移したことにより、色素材料事業全体で前年同四半期を下回りました。

触媒事業は好調に推移し前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は機能性材料事業及び色素材料事業の売上高が減少したことにより、12億4千5百万円となり、前年同四半期に比べ22億4千7百万円(64.3%)減少しました。

【ライフサイエンス事業領域】

売上高は153億8千7百万円となり、前年同四半期に比べ5億9千3百万円(4.0%)増加しました。

医薬事業の国内向け製剤は、光線力学診断用剤「アラグリオ®顆粒剤分包」の市場浸透、ジェネリック抗がん

薬「ペメトレキセド点滴静注液」の伸長、前期に上市した抗体バイオシミラー「ベバシズマブBS」が寄与したものの、薬価改定の影響を受け、前年同四半期を下回りました。国内向け原薬、診断薬は前年同四半期を下回ったものの、輸出、受託事業は前年同四半期を上回り、医薬事業全体としては前年同四半期を上回りました。

アグロ事業の国内向け販売は前年同四半期を下回ったものの、輸出が前年同四半期を上回り、アグロ事業全体としては前年同四半期を上回りました。

不動産事業は、前年同四半期並みとなりました。

セグメント利益は医薬事業において研究開発費の増加と薬価改定による影響等により、16億3千8百万円となり、前年同四半期に比べ12億9百万円(42.5%)減少しました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い「機能化学品事業」、「医薬事業」、「セイフティシステムズ事業」としていた報告セグメントを「モビリティ&イメージング事業領域」、「ファインケミカルズ事業領域」、「ライフサイエンス事業領域」に変更しており、各セグメントの前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は3,430億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ201億4千3百万円増加しました。主な増加は、現金及び預金81億5千2百万円、投資有価証券40億2千8百万円、受取手形及び売掛金35億1千2百万円であります。

負債は794億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ116億4千6百万円増加しました。主な増加は短期借入金85億5千8百万円であります。

純資産は2,635億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ84億9千6百万円増加しました。主な増加は為替換算調整勘定66億5千3百万円、その他有価証券評価差額金33億8千3百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、半導体市場をはじめとして、足元では在庫調整の局面にあるものの、年後半にかけて回復を見込んでおります。一方でロシアのウクライナ侵攻、燃料・資源高による世界的なインフレ進行等により景気の下振れリスクがあります。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応し、株主価値を高める経営資本の最適化を進め、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、当連結会計年度の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,051	56,204
受取手形及び売掛金	53,550	57,062
電子記録債権	2,004	2,003
有価証券	6,296	5,866
商品及び製品	46,217	45,855
仕掛品	1,130	1,069
原材料及び貯蔵品	23,759	25,270
その他	5,072	6,074
貸倒引当金	△44	△72
流動資産合計	186,037	199,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,544	43,364
機械装置及び運搬具（純額）	26,069	26,199
その他（純額）	20,644	22,601
有形固定資産合計	89,259	92,165
無形固定資産		
のれん	2,492	2,375
その他	4,047	4,014
無形固定資産合計	6,539	6,389
投資その他の資産		
投資有価証券	32,146	36,175
退職給付に係る資産	3,845	3,903
その他	5,084	5,088
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	41,021	45,111
固定資産合計	136,820	143,667
資産合計	322,858	343,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,239	18,335
短期借入金	3,380	11,938
未払金	10,662	11,074
未払法人税等	2,133	950
その他	6,633	6,712
流動負債合計	39,049	49,012
固定負債		
社債	8,000	8,000
長期借入金	8,200	8,200
退職給付に係る負債	395	405
その他	12,186	13,859
固定負債合計	28,782	30,465
負債合計	67,831	79,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	15,803	15,803
利益剰余金	202,976	201,494
自己株式	△5,523	△5,524
株主資本合計	228,189	226,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,023	11,407
為替換算調整勘定	17,331	23,984
退職給付に係る調整累計額	473	455
その他の包括利益累計額合計	25,828	35,848
非支配株主持分	1,008	969
純資産合計	255,027	263,523
負債純資産合計	322,858	343,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	48,296	48,584
売上原価	31,301	34,258
売上総利益	16,995	14,325
販売費及び一般管理費	10,614	11,991
営業利益	6,380	2,333
営業外収益		
受取利息	91	160
受取配当金	442	481
持分法による投資利益	-	152
為替差益	1,588	899
その他	227	303
営業外収益合計	2,350	1,996
営業外費用		
支払利息	24	47
持分法による投資損失	9	-
その他	63	103
営業外費用合計	97	151
経常利益	8,634	4,179
特別利益		
固定資産売却益	28	2
投資有価証券売却益	-	923
特別利益合計	28	925
特別損失		
固定資産処分損	136	184
投資有価証券評価損	-	765
特別損失合計	136	949
税金等調整前四半期純利益	8,526	4,155
法人税、住民税及び事業税	1,480	905
法人税等調整額	1,072	569
法人税等合計	2,552	1,475
四半期純利益	5,973	2,679
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,957	2,661

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	5,973	2,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△924	3,383
為替換算調整勘定	5,371	6,719
退職給付に係る調整額	△86	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	4,361	10,085
四半期包括利益	10,334	12,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,249	12,681
非支配株主に係る四半期包括利益	85	84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	モビリティ& イメージング 事業領域	ファインケミ カルズ事業領 域	ライフサイエ ンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,694	16,808	14,794	48,296	—	48,296
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	42	0	51	△51	—
計	16,703	16,850	14,794	48,348	△51	48,296
セグメント利益	1,929	3,492	2,848	8,270	△1,889	6,380

(注)1 セグメント利益の調整額△1,889百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,882百万円及びセグメント間取引消去△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	モビリティ& イメージング 事業領域	ファインケミ カルズ事業領 域	ライフサイエ ンス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,250	13,946	15,387	48,584	—	48,584
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	9	0	9	△9	—
計	19,250	13,956	15,388	48,594	△9	48,584
セグメント利益	1,479	1,245	1,638	4,363	△2,029	2,333

(注)1 セグメント利益の調整額△2,029百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,024百万円及びセグメント間取引消去△5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い「機能化学品事業」、「医薬事業」、「セイフティシステムズ事業」としていた報告セグメントを「モビリティ&イメージング事業領域」、「ファインケミカルズ事業領域」、「ライフサイエンス事業領域」に変更しております。

各報告セグメントを構成する主要製品は以下のとおりです。

報告セグメント	売上区分	主要な製品・サービス
モビリティ&イメージング事業領域	セイフティシステムズ	エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブ
	ポラテクノ	液晶ディスプレイ用部材、液晶プロジェクター用部材、X線分析装置部材
ファインケミカルズ事業領域	機能性材料	エポキシ樹脂、マレイミド樹脂、エポキシ樹脂用硬化剤、反応性難燃樹脂、アクリル酸エステル、レジスト用紫外線硬化型樹脂、MEMS用レジスト（液状並びにドライフィルムレジスト）、LCD・半導体用クリーナー、液晶ディスプレイ用シール剤、半導体製造装置（ラミネーター、リムーバー、マウンター、UV照射機）
	色素材料	インクジェットプリンタ用色素、インクジェット捺染用染料、産業用インクジェットインク、イメージセンサー用材料、調光ガラス用二色性色素、近赤外線吸収剤、繊維用及び紙用染料、樹脂用着色剤、感熱顕色剤、顔料誘導体（シナジスト）
	触媒	アクリル酸製造用触媒、アクロレイン製造用触媒、メタクリル酸製造用触媒
ライフサイエンス事業領域	医薬	抗悪性腫瘍剤、生物学的製剤、循環器用剤、光線力学診断用剤、体外診断用医薬品、血管内塞栓材、医薬原薬・中間体、食品添加物、健康食品素材、食品品質保持剤、洗浄除菌剤
	アグロ	殺虫剤、除草剤、殺菌剤、殺ダニ剤、防疫用殺虫剤、土壌殺菌剤、動物忌避剤
	不動産	不動産事業

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。